

# 小金井市行財政改革市民会議の取組み

市民会議委員 尾木 雄 (H26.10.26)

## 1. 私の発言要旨

フォーラム実行委員会からの求めに基づき、第7期市民会議の活動状況と検討の概要乃至問題意識を一委員の立場から報告

## 2. 第7期市民会議 (H26.4～) の活動状況

- 1) 平成26年度予算編成に対する緊急提言；H25.9.20.
- 2) 中間答申；H26.2.13
- 3) 現在、H26年度内の最終答申に向けて、検討を進めている。
  - 昨年4月以来、計6回の会議（公開・議事録公表）のほか、大半の委員が参加する自主的な「勉強会」をこれまでに計16回実施

\* 現下の市の危機的財政状況を背景に、市民会議は松井義侑会長の下、熱意をもって、改革のために取り組んできていると言えると思う。  
緊急提言、中間報告により、行財政改革問題に関し若干なりとも市民の関心が高まり、市議会においても、昨秋、改革調査特別委員会の設置

## 3. 市民会議の緊急提言・中間答申の主な内容乃至問題意識

- 1) 財政健全化のための全体計画の策定の必要性
- 2) 受益者負担の適正化に向けた取組みの強化
  - 各種施設使用等に対する料金改定や有料化
  - 一元的、かつ、総合的に検討する体制の整備
- 3) 各事業の民営化（民間委託等）の促進
  - 保育業務等の民間委託、各種施設への指定管理者制度
- 4) 各種事業・団体への補助金等の見直し
- 5) H9年度の第1次行財政改革大綱に始まる改革の取組みが不十分
  - 第3次改革大綱の内容自体及び進捗管理への不満
- 6) 今回答申の履行確保に向けた仕組が必要
  - 職員の意識・能力の向上に向けた措置
  - 改革の推進、履行を担保する仕組の整備

\* 市民と職員（市）との建設的な対話、市政情報の適切・十分な開示、職員の職務遂行上の真摯な取組み・責任意識の涵養が期待される。（以上）